

令和5年度米子市美術館協議会議事録（概要）

日時：令和6年2月15日（木）15：30～

場所：米子市美術館 2階第5展示室

開会（15：30）

挨拶（原文化振興課長）

議題1 会長及び職務代理の選出

会長に三浦委員、職務代理に鐘築委員を選出。

改選後初の協議会のため、自己紹介を行う。

議題2 令和5年度米子市美術館事業実施状況について

（中村館長が資料に沿って事業報告を行った。以下、質疑応答）

（委員）井田幸昌展の入場者数が少ない。オープニングのギャラリートーク時は人が多く追加開催もされた。入場者数とギャラリートークの差が激しい。美術館としてはどのように受け止めているのか。

（館長）読めない部分があった。1万人を見込んでいたが、実際は井田氏本人が来た初日と閉会日は入場者数が多く、それ以外の日は少なかった。京都での展示があるので、県外からの入場者は少なかった。入場者は10～30代が多かったが、高齢者層は少なかった。抽象的な作風なので、受け入れられるのが難しかったのではないかと思います。

（委員）広報に力を入れており、自分も広報に携わっただけに残念。

（館長）ポスター等掲示したが、抽象的なので難しいところはあった。端から受け付けない方はいたようです。アンケート結果は非常に良かった。

（会長）貸館は新規団体の方はいるのか。固定化されているのか。

（館長）毎年9月の初めから12月にかけては米子市秋の文化祭開催のため、借りる方はほとんど固定。あいサポートととったりや県展等、県関係の大きい観覧会は毎年ある。新規については3～5団体ほど。2、3年に一回借りる団体もいる。

（委員）おやこでアート時間の人数が少ない理由は何か。

（副館長）実施日を図書館が休みの日に設定している。また、無料の展覧会の時は結構な人数が来られたが、無料だったからではないかと思われる。広報の仕方の努力も必要。

（委員）図書館が休みの日に美術館が開いているのは良いかもしれないが、実際に出かける側としては、自分は市内中心部の在住ではないので、せっかく大変な思いをして出てきたのであればどこかに寄りたいと思うので、休みに合わせなくてもいいのではないかと思います。

（副館長）土日にしたらどうかという声もあるが、逆に土日は人がとても多い。いろんなお客様に対応しなければならないので、悩んでいるところ。

(委員) それに関連して、先程広報の仕方とあったが、例えば子育て支援センター等にも案内したほうがよい。月曜だと幼稚園・保育園に行かない家庭の方の参加が多いと思われる。そういう方々は子育て支援センター等を利用されると思うので、そういった施設に情報があれば、施設の支援員から案内ができるため。

(館長) コレクション展で考えると、有料であることが一つのハードルとなっている。今後はおやこでアート時間に来られた親子は無料にするという案も出ている。

(会長) 学校の児童にチラシを配布するなど、学校との連携は行っているのか。

(副館長) 全児童に配布はしていないが、毎回展覧会ごとに学校に配布している。

(委員) 受け取ったポスターやチラシは貼り出して掲示している。また、今回コレクション展を観覧したが、淀江町ゆかりの「古代の馬」の絵が展示されていた。自分の学校の生徒にも見てほしい。有料であると足が遠のく。生徒が無料の時に、郷土ゆかりの先生の作品を生徒と一緒に見られるとよいと思う。

(館長) 基本的に、特別展でない展覧会については小中学生無料。

(副館長) 引率の先生も無料とする。

(委員) 小学校もチラシが全員分でないときは玄関に置いて、興味のある人が取って帰るという形をとっている。今年度の大広重展では館長・副館長に講師をしていただき、教員側に好評で、その後の指導に活かすことができた。去年は和田小学校にいたが、県立博物館が4年生を対象に希望する学校にバスで送迎し、博物館で鑑賞の仕方等を教えていただいた。費用は無料。市内小学校の何校かが希望して観覧に行っている。今後できる県立美術館でも同様の取り組みをしていくとのことだった。米子市美術館でもそういった活動があれば、遠い地域の児童にも美術館で作品を鑑賞する機会ができるのではないかなと思うので、検討してほしい。

(副館長) 今後できる県立美術館は教育普及に力を入れている。今言っていた対話型鑑賞については、ファシリテーター養成講座という、子どもたちと対話をしながら鑑賞をするものがある。米子市美術館でも、コレクション企画展や特別展で合間を縫って子どもに声がけをしている。来年度についても、そういった場面をつくろうと考えている。

(館長) 小学校の観覧については、図書館や歴史館を廻る事業を学校単位でされているが、そこに美術館も加えてほしい。基本無料で、事前に連絡いただければ対応する。

(会長) 子どものころから美術館に親しむことは大事なことで、よく連携を取ってほしい。

議題3 令和6年度米子市美術館事業計画について

(青戸副館長が資料に沿って事業計画の報告を行った。以下、質疑応答)

(委員) 田中達也展Ⅱの展示内容は一回目に比べて一新されているのか。

(副館長) 1回目と異なる。2回目の図録があるので確認ください。(図録を回覧する)

(委員) 見込み数が1万5千人となっているが、強気で宣伝していただきたい。リピーターも新しい層も増えてほしい。佐藤健寿展については、好みが分かれると思われるが、斬新

で地方ではなかなか見られないタイプ。1万人と言わず頑張っていたきたい。市展で新設されたデザイン部門について、出展者は若い人が多いのか。

(副館長) 高校生が多い。デザインを学ぶ学校もあるので、そこからまとまって出展されることもある。

(委員) 佐藤健寿展は、若年層に興味をもつ方が多いのでそういった層への働きかけを。

(会長) 佐藤健寿展は、米子以外でも開催されているのか。珍しい開催であれば全国からも来られるが、井田幸昌展のように次の場所での開催があるので控えようということにならないければ、集客を望めるのでは。

(副館長) 前は山口、群馬で開催した。1月に佐藤氏が山陰で撮りおろした作品もあるので、他所にはない展示といえる。

(委員) 展覧会については、努力しても、見る人とのギャップがあるのは仕方がない。

(委員) 写真家として、田中達也展は参考にしたい部分もあるので楽しみにしている。

(委員) 田中達也展は、観覧者の表情が良かった。こちらでも宣伝をしていきたい。市展については、子ども達へギャラリートーク等で美術を鑑賞する機会を与えるべき。

(委員) 佐藤健寿展は興味を持つ人が増えるよう、今からしっかり宣伝するべき。まだ宣伝が少ないと思う。

(委員) 田中達也展は前回行けなかったもので、今回は曾孫を連れて鑑賞したい。

(委員) 書展について、一般の観覧者には理解されにくい。書の分野にスポットライトを当ててほしい。

(委員) 書展について、多くの方に見てほしい。また、色々な部門の展示で、郷土の作家にスポットライトを当てており、気づきが多い。

議題4 その他

(青戸副館長が資料を使って新規収蔵予定の作品について報告した。以下、補足)

(副館長) 令和4年度は鈴木康夫の木口木版の版下の寄贈があった。今年度は、小早川秋聲の人物図と嗒然「月に兎図」の日本画2点の収蔵を検討している。2月10日に松岡委員と光木委員と佐藤委員に見ていただき、コメントをいただいた。書は西駕龍洞の「酬崔侍御」を収蔵予定。2月9日に中澤委員と金田委員に見ていただき、コメントをいただいた。彫刻は辻晋堂の「裸婦立像」、資料は生田眞の「ゆりと椅子」原版、香田勝太の「初雪」、金澤虹坡の「雪景」を収蔵予定。現物を第4展示室に展示してあるので確認いただきたい。

(委員) 美術品の収蔵は、寄贈が基本なのか。

(副館長) 寄贈に限らず購入する場合もある。

(事務局) 美術品を取得するための基金があるので、収蔵したい美術品があれば、相談の上、基金を使って購入するという流れとなっている。

(水田委員) 基金は年々積み上げていくものなのか。

(事務局) 現在は積み上げは終わっており、7000万弱ほどある。

(会長) 今回は購入でなく寄贈となるのか。

(副館長) 今回は寄贈となる。

(館長) 今後、市と協議しながら、計画的に購入するように考えている。

(委員) 購入は、基本的に関りのある作家なのか。

(館長) 関わりのある作家を第一に考えている。

(会長) そのほかに質問は。それでは、進行を事務局へ戻す。

(事務局) 美術品の購入については、平成16年を最後に購入がないので、どういった作品を買えばよいのか、市長と協議中である。また進展があれば報告する。

(館長) 収蔵について補足。収蔵庫のスペース問題があり、物理的に作品が入らない。近年市に収蔵庫の改修をしていただき、若干のスペースを設けることはできた。そのことから、寄贈を受け付けたり、あるいは購入について考えることもできるようになった。しかし、決まったスペースしかないので、今後収蔵がどんどんできるかと言われると難しい。

(事務局) 来館者が県外から車で来館される場合、カーナビを設定すると美術品がダイレクトに行先設定され、市役所駐車場に回るように案内しなければならなかった。そのことが昨年9月に市議会質問で取り上げられた。国内の主要カーナビメーカー8社に要請書を送った。うち5つのメーカーから、美術館を設定すると、周辺の駐車場検索で市役所有料駐車場を出すように、開発を前向きに検討していると回答いただいた。グーグルマップ、ナビタイムについても、米子市から申請し、美術館側に車が入り込まないように対策を講じた。

閉会（17：00）